

校長室だより

令和7年 4月 8日(火)
第 1 号
十日町市立中条中学校校長室

今年度もよろしくお願ひいたします

十日町市立中条中学校の校長 友野 直己(ともの なおみ)と申します。当校4年目となりました。令和7年度もよろしくお願ひします。

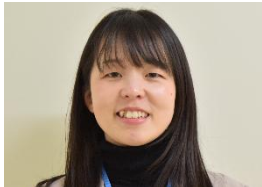
令和6年度は、保護者、地域、関係者の皆さまからご理解とご支援をいただき、素晴らしい教育活動を展開させていただくことができました。多くの成果があり、このたよりだけではお伝えできないくらいです。特に地域とのかかわりの面では、体育祭や地域の行事等、コロナ禍以前よりも充実した取組ができたと思います。

令和7年度はさらに充実した教育活動を展開します。私は常に、「踏襲(とうしゅう)だけではゼロベース、いやむしろマイナスである。新たな工夫を凝らしていこう」と声にしています。学校運営協議会をはじめ、保護者や地域の皆さまと連携を密にし、生徒たちの健全育成に努めてまいります。引き続き中条中学校の教育活動に、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年度に転入した職員を紹介します。転入職員の詳しいプロフィール等は、4月下旬発行予定の学校だより「ひびき」や各学年だよりに掲載させていただきます。



○ 令和7年度転入職員

加藤 雪子 教諭 十日町市立下条中学校より 	佐藤 政幸 教諭 十日町市立松之山中学校より 	松田 景子 教諭 南魚沼市立八海中学校より 
石澤 彩 教諭 南魚沼市立八海中学校より 	反り目 雄太 教諭 長岡市立江陽中学校より 	小島 和裕 教諭 三条市立下田中学校より 
伊藤 凜 教諭 新採用 	高橋 佳世 講師 講師として 	山崎 恵 主事 上越市立下黒川小学校より 

令和7年度第1学期始業式での話

今日から中条中学校の令和7年度が始まります。

春休みは充電できたでしょうか。ここに立つと皆さんの新たな決意がひしひしと伝わってきます。3年生は学校の顔となる最上級生として、2年生は学校の心臓の中堅学年として今年はこんなことをしてみよう、こんな活動をしてみたいと夢や希望を胸に抱いていると思います。



今日から新しいクラスでのスタートになります。新しい先生方を迎えました。この4月に大切なことは「人間関係づくり」です。今、この場でも仲のよかった生徒と別のクラスになった、このクラスでどうか心配などと考えている人は少なからずいると思います。「人間関係づくり」の力は、これから生きていく中で身に付けなければならない大切な力です。卒業後の自分に生かすためにぜひこの4月に以下のことを心にとめて取り組んでみませんか。

1つめは、自分から働きかけることです。

良好な人間関係の構築に必要なのは、Give（ギブする＝与える）姿勢です。ギブすることで人間関係の構築に、良い結果をもたらします。

返報性の法則といって、人は相手から受けた好意に対し、お返しをしたいという心理が働きます。大切なのは、自分から意識的に行動することです。

2つめは、相手の立場になって考えることです。

一人一人は違います。相手はどんな人間であるかを認め、尊重することが大切です。誰しも自分を否定されたり、尊重してもらえたりしないと、自信をなくしてしまいます。お互いをリスペクトしていく姿勢が大切です。そのためには、人の話は否定せず聞いて、まず受け入れてみることです。まずは聞いてみませんか。思いやりの心を持ち、相手の視点で物事を考える意識をもちましょう。

3つめは、相手の長所を見つけようとすることです。

人には必ず良い面と悪い面があります。

相手に苦手意識をもつと、悪い面ばかりに目がいき、良い面に気付けません。良い面に目がいくと相手を尊敬でき、人間関係の構築によるストレスを減らすことができます。

さて、この3つの方法を心にとめて今から行動を起こしてみませんか。時間がかかるかもしれませんが、みんながこのような気持ちでいれば、素晴らしいクラスや学年になります。まずは、やってみませんか。

明日には、新入生が入学してきます。これまでのバトンを是非1年生にも引き継いでください。そして上級生自ら、元気でさわやかな挨拶、美しい学校、仲間との絆、整然とし、場に応じた身なりや礼儀、これを率先してできる先輩であってください。その姿を見て1年生に引き継がれるものと思います。

一人一人が笑顔で輝く学校が私の求める姿です。そのために先生方は精一杯応援します。自分の持てるものをすべて出し切り、素晴らしい学校を作り上げていきましょう。

